

資源循環型の里山をつくろう！

里山の落ち葉・薪活用のためのワークショップのご案内

2014 年度から NPO 法人霜里学校は早稲田大学天野研究室と連携し、W-BRIDGE（早稲田大学とブリヂストンの連携による研究活動制度）から委託された研究活動を行ってきました。

その研究を通じ、「下里では、里山の落ち葉が堆肥づくりなどに継続的に使われてきましたが、里山の落ち葉の利用は生物多様性への良い影響（色々な植物が増えるなど）があるものの、里山の雑木を定期的の間伐して燃料・原木等に利用するなどして、若い木が常に成長しているような循環する森でない場合は、二酸化炭素を吸収するのではなく、排出してしまう（温暖化の要因）」ことがわかってきました。

また、下里の有機農業には落ち葉利用は不可欠であるものの、全ての農家が森林を持ついるわけではなく、また山を持っていても、管理が難しい方もいます。

そこで活動研究3年目の今年は、**地域の中で里山の雑木を薪や炭として利用することや、里山の落ち葉を使いたい人たちが使えるようにするためにはどうすればいいのかなど**、皆で考えるワークショップを行うことにしました。

話し合った内容はマニュアルにして公開する予定です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

2016年11月13日(日) 13:30~17:30 (受付開始 13:00~)

@小川小学校旧下里分校

埼玉県比企郡小川町大字下里 824 番地

参加していただきたい方々

農業者

里山の持ち主

薪を使いたい人

落ち葉堆肥を使いたい人

薪ストーブを使っている人

里山保全に関心のある人

進め方：「ワールドカフェ」と呼ばれる話し合いの方法で、3つのテーマについてワイワイと楽しく話し合います。

テーマ1：「下里地区の里山の落ち葉、薪を使ってどんな生活をしたいか」

テーマ2：「落ち葉を使った農業を続けるために必要なことは」

テーマ3：「下里地区の落ち葉、薪を地域の人々が使えるようにするには」

まとめ：各テーブルの発表と総括

※参加ご希望の方は

shimozatogakkou@gmail.com

まで

氏名、住所、ご職業、電話番号

Email アドレスをご連絡ください。

※当日参加OKです！！

主 催

NPO 法人 霜里学校 担当：安藤（080-6633-9981）

TEL：0493-72-0429 <http://www.shimozato.jp/>

W=BRIDGE

※本事業は、学校法人早稲田大学と株式会社ブリヂストンが連携して設置した研究プログラム「W-BRIDGE」の平成28年度研究活動委託を受け実施いたします。

